

はじめに

—合格者の具体的な成功法を公開、体験してもらう内容

—キャリアコンサルタント実技試験に合格してもらうための本を作る
そんなシンプルな考え方から本書の企画が始まりました。

キャリコンサルタント試験には、学科試験と実技試験があります。実技試験は、さらに「論述」と「面接」の2つで構成されており、どちらも合格点に達すると実技試験合格となります。実技（面接）試験に関しては特に、「苦手、できない、わからない」という人が多いです。一方で、「わかっているけどできない」ために、上手にロールプレイができる人が多いことも感じていました。

私は「みんなに合格してもらおう！」と思い、実技試験が「できない」と感じているいろいろな人から、その不安・疑問・苦手意識などを詳しく聴きだし、研究を重ねて合格講座を開講しました。すると、不合格だった人たちが次々と合格するようになりました。

そして、「キャリアコンサルタント試験突破の鍵は実技試験にある！」ということを確信するようになりました。

- ・何ができるか実技試験に合格できるのか知りたい
- ・他の人のロールプレイを見てみたい
- ・実際の試験のポイントってなんだろう？
- ・なぜ不合格になるのかわからない
- ・早く資格を取って今後の人生に活かしたい

本書は、受験者のみなさんのこうした疑問や要望にお応えできるよう、合格マニュアル的な要素と資格活用ノウハウ的な要素を組み合わせて一冊にしています。これからキャリアコンサルタントを目指す方やその指導者の方々は、ぜひ本書を読んでください。

一緒に合格目指して頑張っていきましょう！

令和2年4月

津田 裕子

第1章 なぜ今、キャリアコンサルタントなのか

1 キャリアコンサルタントが国家資格になった理由	12
(1) キャリアコンサルタントとは	12
(2) なぜ国家資格となったのか	12
① 登録制度	13
② 名称独占	13
③ 更新制度	14
(3) 資格を取ると何ができるのか	14
(4) 全国のキャリアコンサルタントの数	15
(5) 試験は年に3回実施	16
2 キャリアコンサルタントになるために必要なキャリア (受験資格)と費用	18
(1) キャリアコンサルタントに向いている仕事	18
(2) キャリアコンサルタントになるための勉強	20
(3) キャリアコンサルタントは誰でもなれる	21
◎ 試験を受けるには「受験資格」が必要	21
(4) 受験資格の「実務経験(3年以上)」	22
(5) 受験資格の「養成講習修了」	22
(6) 受験資格を得るための費用	23
(7) キャリアコンサルタントの試験を受験するときの費用	25
3 資格を取得して、できる仕事とそのメリット	26
(1) 企業内で活躍している人が多い	26

(2) キャリアコンサルタントの勤務先	30
(3) キャリアコンサルタントになるメリット	31
(4) 気になるキャリアコンサルタントの年収	32
4 資格試験の気になる中身と難易度 (学科、論述、面接)	33
(1) 学科試験	33
① 学科試験の形式 33	
② 学科試験の内容と範囲 35	
(2) 実技試験（論述）	37
① 論述試験の形式 37	
② 論述試験の内容 38	
(3) 実技試験（面接）	41
① 面接試験の形式 41	
② 面接試験の流れ 42	
(4) 合格点	43
① 学科試験の合格点 43	
② 実技試験の合格点 44	
(5) 学科と実技試験、片方だけ合格の場合	44
① 学科試験に合格して実技試験不合格の場合 44	
② 実技試験に合格して学科試験不合格の場合 44	
③ 「キャリアコンサルティング技能士」試験の片方合格との組合せ も可能 45	
5 試験 2 団体の違いと選び方	46
(1) キャリアコンサルタント養成講習	46
(2) 実務経験 3 年以上の受験資格がある場合の受験団体の選び方	51

目 次

◎ 独学の場合の受験団体の選び方	51
(3) 実技試験（論述試験）の2団体の違い	53
① 2団体の論述試験の共通項	53
② 2団体の論述試験の特徴	54
(4) 実技試験（面接試験）の2団体の違い	56
① 2団体の面接試験の共通項	58
② 2団体の面接試験の特徴	59
③ 面接試験後の口頭試問	60
④ 2団体の面接試験の平均点	61
(5) 実技試験（面接試験）の評価項目とは何か	62

第2章 何ができるば合格なのか

◎ キャリアコンサルタント実技試験の具体的な内容と 解答のポイント	66
(1) キャリアコンサルタント実技試験とは	66
(2) 過去問題を無料で入手する方法	66
① 過去問題ダウンロードの方法	67
② 過去問題入手時の注意点	67
(3) 論述と面接試験の関係性（合格点90点以上の秘密）	68
(4) 論述試験の解答例とそのポイント [キャリアコンサルティング協議会]	71
① 全体的な解答の方法	71
② 解答に取りかかる前に	71
③ オリジナル模擬問題	72
④ オリジナル模擬問題解答例	77

⑤ 第10回国家資格キャリアコンサルタント論述試験 解答例 [キャリアコンサルティング協議会]	81
(5) 論述試験の解答例とそのポイント	
[日本キャリア開発協会 (JCDA)]	82
① 全体的な解答の方法	82
② 解答に取りかかる前に	82
③ オリジナル模擬問題	83
④ オリジナル模擬問題解答例	89
⑤ 第10回国家資格キャリアコンサルタント論述試験 解答例 [日本キャリア開発協会 (JCDA)]	97
(6) 実技面接試験の概要とそのポイント	
[キャリアコンサルティング協議会]	98
(7) 実技面接試験の概要とそのポイント	
[日本キャリア開発協会 (JCDA)]	100
(8) 実技面接試験、評価項目のポイント	
[キャリアコンサルティング協議会]	102
① 「態度」とは	105
② 「展開」とは	105
③ 「自己評価」とは	107
(9) 実技面接試験、評価項目のポイント	
[日本キャリア開発協会 (JCDA)]	107
① 「主訴・問題の把握」	109
② 「具体的展開」	110
③ 「傾聴」	112
④ 「振り返り」	113
⑤ 「将来展望」	113
(10) 口頭試問での質問とその解答方法	
[キャリアコンサルティング協議会]	113

① できしたこと、できなかつたことについて教えてください	114
② 相談者が感じている問題点とキャリアコンサルタントから見た相 談者の問題点を教えてください	114
③ 今後この相談者とどのように関わっていこうと思いますか？	115
(11) 口頭試問での質問とその解答方法	
[日本キャリア開発協会 (JCDA)]	115
① できしたこと、できなかつたことについて教えてください	116
② キャリアコンサルタントの資格をどう活かしますか？（どんな キャリアコンサルタントになりたいですか？）	117

第3章

「自信がない」印象で 合格を逃した3人の話

○ キャリアコンサルタントとして相応しい態度とは	120
(1) 1人目 相手と目を合わそうとしない 50代男性	120
○ まとめ「アイコンタクトの重要性」	124
(2) 2人目 受け答えをするたびにオドオドしている 40代女性	126
○ まとめ「クセを持っている人はいませんか？」	129
(3) 3人目 特定の層に苦手意識を持つ 50代女性	134
○ まとめ「自己不一致をおこしている CC」	138

第4章**「我の強さ」が仇になって
合格を逃した4人の話**

- キャリアコンサルタントの主觀は不要 142
- (1) **4人目** やたらと危機感をあおって成長を促す50代男性 142
 　○ まとめ「CCの主觀を伝える必要はない」 145
- (2) **5人目** 持論を人に押しつける50代女性 146
 　○ まとめ「誘導しない」 149
- (3) **6人目** 感情の赴くままに相手を責める60代男性 150
 　○ まとめ「CCはクライエントの味方です」 154
- (4) **7人目** 自分が正しくて相手が間違っていると強調する60代
 　　男性 156
 　○ まとめ「決めつけない」 159

第5章**1人でできる、実技面接試験に
絶対合格する練習方法**

- 実技面接試験の練習方法 162
- (1) 7分間、ひたすらこれだけやってください 162
 　① 用意するもの 162
 　② 練習方法 163
 　③ ロールプレイ練習開始（最初の7分） 163
 　④ ロールプレイ終了 166
 　⑤ 1人でできる練習方法（トレーニング問題） 168

目 次

⑥ まとめ	170
(2) さまざまな逐語記録を読んでみる	170
○ 逐語記録①	170
○ 逐語記録②	180
(3) ロールプレイの様子を動画撮影する	188
○ 用意するもの	188
(4) バーバルとノンバーバル（言語と非言語）	192
(5) ロールプレイの様子を音声録音する	193
(6) 逐語記録を作成してみる	194
① 用意するもの	194
② 逐語記録の作成開始	194
③ パソコン入力の場合	194
④ 紙に文字で書き出す場合	195
⑤ 音声入力の場合	195
(7) ロールプレイが上手な人と自分自身の逐語記録を 比較してみる	195
○ 逐語記録③（目標設定までできた逐語記録）	196

第6章 実技面接試験に合格！ 逐語記録の活用

○ 合格するために逐語記録を活用しよう	206
(1) 逐語記録とは	206
(2) 逐語記録の重要性	207
○ 逐語記録で何がわかるのか	207

(3) これで合格した！ 合格逐語記録例 [キャリアコンサルティング協議会]	225
(4) これで合格した！ 合格逐語記録例 [日本キャリア開発協会 (JCDA)]	234

第7章 試験に出てくる主な相談ケース3つ

○ 相談ケースそれぞれの特徴を知ろう	242
(1) 「意思決定」の事例	242
(2) 「現在の問題」の事例	257
(3) 「気持ちの整理」の事例	272

第8章 合格した後のためにできる準備

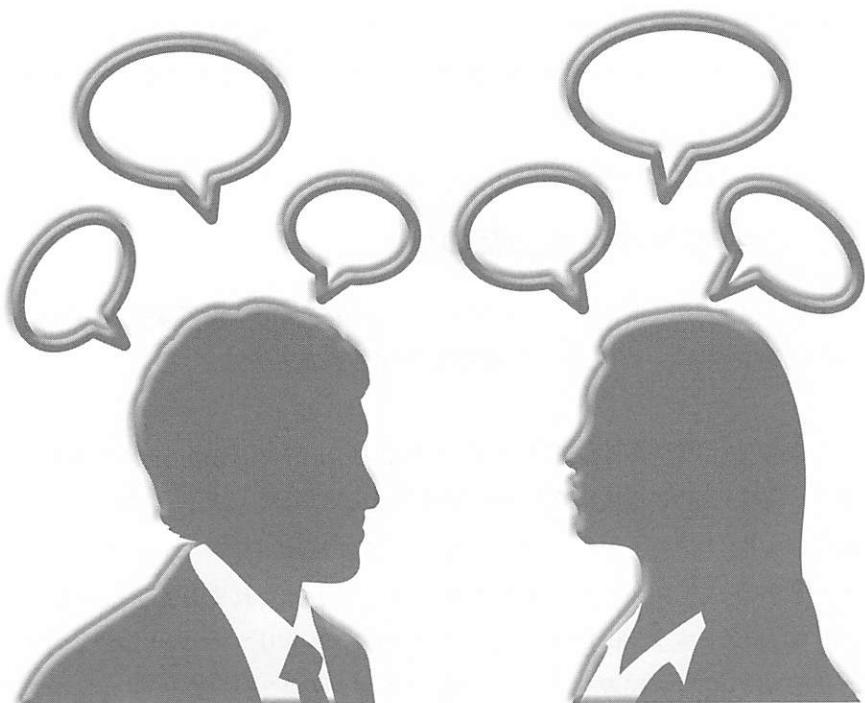
○ あなたは今、キャリアコンサルタントになりました。 何をしていますか?	290
(1) キャリアコンサルタント自身がキャリアデザインを行うこと の大切さ	290
○ 将来自身がどうなりたいのか?	290
(2) 資格取得はただの通過点	291
○ なりたい自分になった後のことを考えてみる	291
(3) 未来の相談者を想像してみる	294

目 次

(4) キャリアコンサルタントとしての自身の専門分野	297
(5) キャリアコンサルタント資格で独立、起業は可能か	298
① どんな資格でも取得しただけでは仕事はこない	298
② プロモーション、プランディング、マーケティング	299
(6) 独立、起業したときに必要なこと	301
◎ 会社を興すか、個人か、副業か	301
(7) 独立、起業したときどんな仕事があるのか	302
① できる限り登録をする	302
② 他の士業や企業との連携	303
③ キャリコンサーチへの登録	304
(8) 私が「講師」を選んだワケ（キャリアコンサルタント更新講習の開講）	305
① 講師歴を活かしたキャリアコンサルタントとしての活動	305
② キャリアコンサルタント合格講座	306
③ 職業訓練校や高校、大学、企業などでの講師	308
④ キャリアコンサルタント更新講習	310
⑤ ロールプレイ勉強会	311

第1章

なぜ今、
キャリアコンサルタントなのか



1

キャリアコンサルタントが国家資格になった理由

(1) キャリアコンサルタントとは

経済社会環境が急激に変化する中で、働く方が、自分の職業人生をどういうものにしたいのか、それを実現するためにはどうするか、また、現在の変化にどう対応すべきか、ということを自ら考えていかなくてはならない状況になってきています。

そうした生涯を通じた職業の選択、職業生活の設計、能力の開発・向上を「キャリア」と呼び、そのキャリアに関する相談に応じ、サポートを行うことを「キャリアコンサルティング」といいます。

つまり、働く方のキャリアに関するサポートを行う専門家が、「キャリアコンサルタント」です。

(2) なぜ国家資格となったのか

上記のように、キャリアコンサルタントの存在が重要になってきている状況を背景に、平成 28 年に国家資格化されました。

国家資格化の経緯は、まず平成 27 年 9 月 11 日に「勤労青少年福祉法等の一部を改正する法律案」が衆議院本会議で可決・成立。これにより職業能力開発促進法の第 8 節に「キャリアコンサルタント」が新設され、キャリアコンサルタントに関する様々な改正が行われました。改正法の施行期日は平成 27 年 10 月 1 日でしたが、「キャリアコンサルタント」の登録制の創設（国家資格化）に関する部分などは平成 28 年 4 月 1 日

に施行されました。

●キャリアコンサルタントに関する改正のポイント（抜粋）

1. キャリアコンサルタント試験が国家試験となります。
2. キャリアコンサルタントの登録制が創設されます。
3. 登録された者のみキャリアコンサルタントと名乗ることができます（名称独占）。
4. 「キャリアコンサルティング」の定義が明確化されます。
5. 事業主は「キャリアコンサルティングの機会の確保その他の援助を行う」措置を必要に応じて講ずることとされます。

◎勤労青少年福祉法等の一部を改正する法律案

（青少年の雇用の促進等に関する法律）

<https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/soumu/houritu/dl/189-26.pdf>

（参考）第189回国会（常会）提出法律案

<https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/soumu/houritu/189.html>

※上記の一部に記載されています。

「国家資格キャリアコンサルタント」の特徴は、次の3つにあります。

① 登録制度

国が指定した登録機関に登録が必要。またその登録機関への登録には一定の条件があります。

② 名称独占

「国家資格キャリアコンサルタント」として登録していない場合に「キャリアコンサルタント」を名乗ると罰則規定（罰金など）の対象と

なります。

③ 更新制度

資格取得後 5 年間に厚生労働省指定の機関にて更新講習（知識講習 8 時間、技能講習 30 時間）を受講修了しないと資格の更新ができません。

このように厳しい条件があります。「資格を取得して終わり」ではなく、それ以降のキャリアコンサルタント自身の自己研鑽が必要であり、それだけ今後の活動に国が大きく期待していることの表れであると捉えることができます。

(3) 資格を取ると何ができるのか

例えば企業内で人事担当として勤務している場合には、この資格取得により大きなキャリアアップの機会となります。企業が率先してキャリアコンサルタント資格取得を促すこともあります。実際に、キャリアコンサルタント資格を取得したことで給料アップにつながった人もいます。

また、様々な「働き方」に対応できます。正社員としてフルタイム勤務で働くことも可能ですし、子供がまだ小さい場合や介護などとの両立に合わせてワークライフバランス等を考慮したいという場合は、週 2~3 日での勤務が可能な求人案件もあります。求人案内を見ていると、ここ最近では必要資格に「キャリアコンサルタント資格歓迎」や「キャリアコンサルタント資格必須」という記載を見かけるようになりました。

このように、資格を活かして自分らしい働きができるところもキャリアコンサルタントの魅力の 1 つといえます。

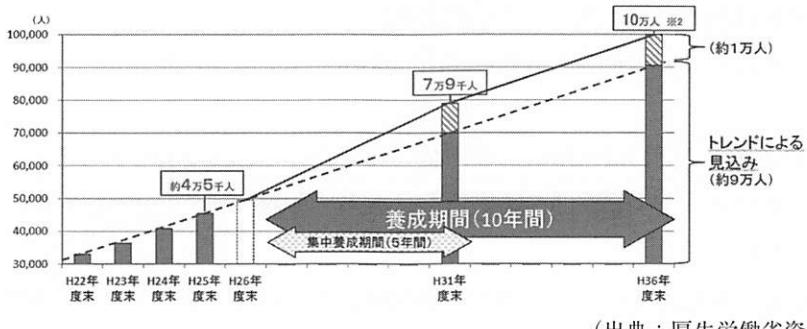
(4) 全国のキャリアコンサルタントの数

平成28年4月に国家資格化されてから急激に数を増やしているキャリアコンサルタントですが、登録者は全国で50,041名（令和2年2月末時点）います。

キャリアコンサルタントの登録数が多いのは東京です。その数は11,620人。その次は大阪で4,265人となっています。大まかにいうと、関東で24,409人、近畿は9,066人となっていますが、キャリアコンサルタントは現在その数を急激に増やしています。

その背景には、政府の進める「キャリアコンサルタント10万人計画」があります。

■図表1-1 キャリアコンサルタント養成数の推移（現行ペース）



図表1-1のように平成36年度（2024年／令和6年）までにキャリアコンサルタントを10万人誕生させる計画があります。これまでの民間資格とは違い、明確な定義に基づく「国家資格キャリアコンサルタント」が誕生し続けています。これにより一定の知識やスキルを有するキャリア形成の専門家としての位置づけがなされました。

(5) 試験は年に3回実施

国家資格化された当初（平成28年～）は年4回行われていましたが、平成31年度／令和元年度より年3回へと変更されています（なお、令和2年6月・7月に予定されていた試験は、新型コロナウイルス対応のため休止となりました）。

本書で解説するように、キャリアコンサルタントの試験は2つの団体が実施しており、試験問題も異なる部分があります。

各団体の試験実施日時は、それぞれのサイトで確認できます。

◆受験案内（キャリアコンサルティング協議会）

<https://www.career-shiken.org/about.html>

◆受験案内（日本キャリア開発協会）

<https://www.jcda-careerex.org/information/schedule.html>

学科試験と実技論述試験は2団体共に同日に1日間で行われます。

午前中が「学科試験」、昼休憩をはさんで午後より「実技論述試験」が行われます。

なお、実施団体により「実技面接試験」の日が異なることにも注意が必要です。実技面接試験はそれぞれの団体で日時設定が違いますので、キャリアコンサルティング協議会（以下「協議会」ともいう）または日本キャリア開発協会（以下「J C D A」ともいう）のサイトで必ず確認しておきましょう。

参考までに、直近の試験日程をご覧ください。

●試験日程表

		キャリアコンサルティング 協議会	日本キャリア開発協会 (JCDA)
第13回	学科	2019年11月3日（日）	2019年11月3日（日）
	実技 (論述)		
第14回	学科	2020年3月8日（日）	2020年3月8日（日）
	実技 (論述)		
第15回	学科	2020年11月1日（日）	2020年11月1日（日）
	実技 (論述)		
第16回	学科	2021年3月7日（日）	2021年3月7日（日）
	実技 (論述)		
	実技 (面接)	2021年3月13日（土）、14日（日）、20日（土）	2021年3月13日（土）、20日（土）、21日（日）

※実技（面接）試験の日程は実施地区により異なります。

※実際の試験日程は、必ず各実施団体のホームページや受験票により確認してください。新型コロナウイルスの影響により、試験の休止等が行われる可能性があります。

2

キャリアコンサルタントになるために必要なキャリア(受験資格)と費用

(1) キャリアコンサルタントに向いている仕事

【人材派遣会社】

多くの派遣社員を抱える人材派遣会社ではここ最近、多数の会社が社員向けにキャリアコンサルタント資格取得を奨励しています。派遣社員特有の悩みなどについて、適切に対応できるキャリアコンサルタントの必要性を感じているためと思われます。

【ハローワーク（地域若者サポートステーション、職業紹介等）】

ハローワークでは、国家資格化された頃からキャリアコンサルタント資格の必要性を感じて積極的に勤務している方々自ら取得しています。弊社が開講している「キャリアコンサルタント合格講座」は全国のハローワークから資格取得を目指す人が受講しています。

【教育】

こちらは大学、短大、専門学校のキャリアセンターなどに勤務されている人などです。新卒者を対象に初めて社会への一歩を踏み出す若者に対する就職サポートを行います。キャリアコンサルタント資格保有者は優遇される場合もあります。他に人材派遣会社がこうした大学へ派遣することも多く、その場合は有資格者のみが登録できるということもあるようです。